

【施工マニュアル】配線瓦 スレート / 金属板金対応

設置条件

屋根構造：弊社架台の屋根構造条件に準拠

屋根材：○平形屋根用スレート葺屋根（スリット無し）

（JIS A 5423「住宅屋根用化粧スレート」規格品、または同等品で厚み4.5～6.5mm）

：○金属立平葺き / 瓦棒葺き

（銅板を除く、JIS規格鋼板もしくは同等品のうち立平葺で断熱材・バックアップ材が入っていないもの）

：○金属横葺き

（銅板を除く、JIS規格鋼板もしくは同等品のうち立平葺で断熱材・バックアップ材が入っていないもので、段差高さが10mm以下、働き長さが180mm以上のもの）

屋根勾配：2.5寸以上～10寸以下

設置場所：太陽電池モジュールのフレーム及び、端子ボックスと干渉しない位置

必要な工具など

下記リストと同じまたは同等品を準備してください。

赤鉛筆 プラスドライバー（サイズ：No.2） カッターナイフ スケール・巻尺

電動ドライバー（トルク設定管理が可能なもの） 六角ソケットビット（対辺10mm）

コンクリート用ドリル刃（φ6.5） 金属用ドリル（φ4.0） ドリルストッパー

超硬ホールソー（刃先径φ45） 集塵機・ブロウ

コーキング材（ゴムアスファルト系） コーキング用へら コーキングガン

使用部材について

製品受領後、部材および付属品が揃っているか必ず確認し、欠品、破損があるときは弊社までご連絡ください。

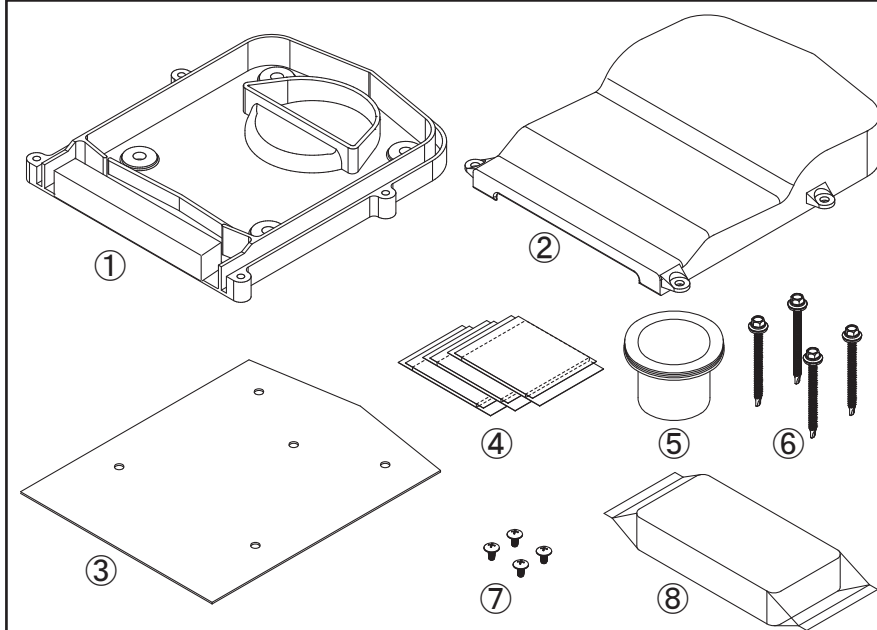
製品名：配線瓦かくれんぼⅡ新スレート型

製品名：配線瓦かくれんぼⅡ金属板金

型番：ERTS-02-S

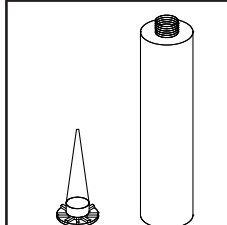
型番：ERKT-02-S

引込可能系統数：ケーブル 3.5mm²：5系統 ※ケーブルの外径により異なる場合があります。



	品名	数量
①	配線瓦ベース	1
②	配線瓦カバー	1
③	型紙	1
④	ブチルシール	3
⑤	配管スリーブ	1
⑥	ベース固定用ビス	4
⑦	カバー固定用ビス	4
⑧	シールパテ	1

※コーキング材は含まれておりません※



コーキング材(ゴムアスファルト系)

配線瓦の防水処理に使用します。
(目安) 10SET/本 ご用意ください。

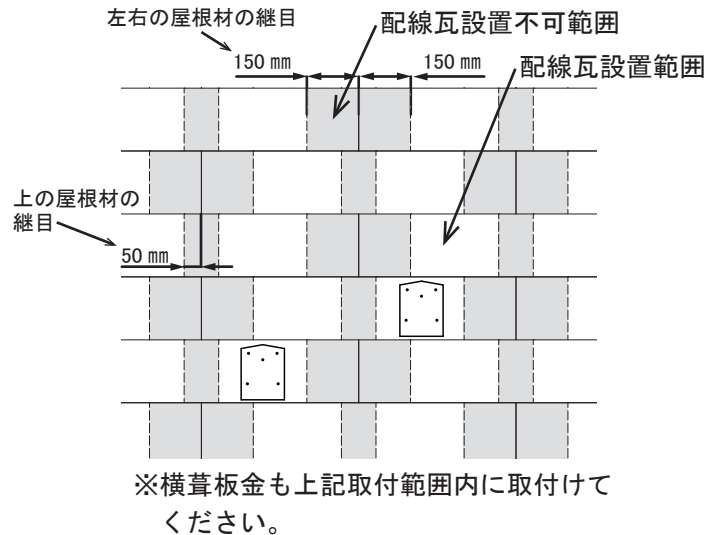
取付手順

本マニュアルをよくお読みになり、正しく安全に取付を行ってください。

①取付位置の確認

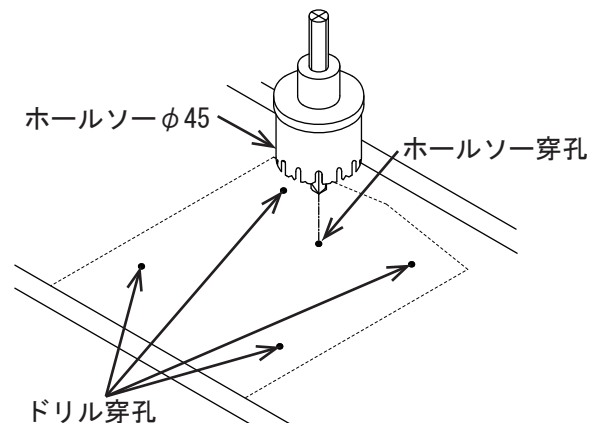
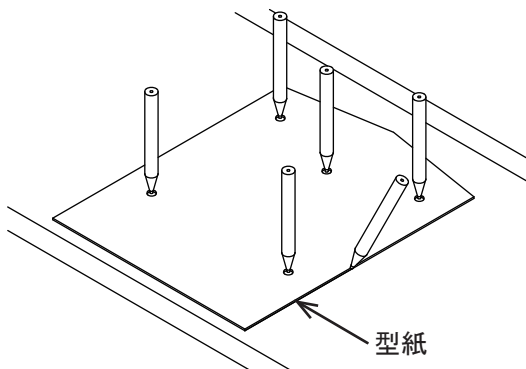
1. 屋根材左右の継ぎ目から
150 mm以上の隙間を空ける。
2. 上の屋根材の継ぎ目から
50 mm以上の隙間を空ける。
3. 太陽電池モジュールの端部から内側に
120 mm以上の隙間を空ける。

※配線瓦を設置する位置の下に垂木や
屋内機器のケーブル等がないこと。
また、太陽電池モジュールのフレーム、
端子ボックス等に干渉しないことを
確認してください。

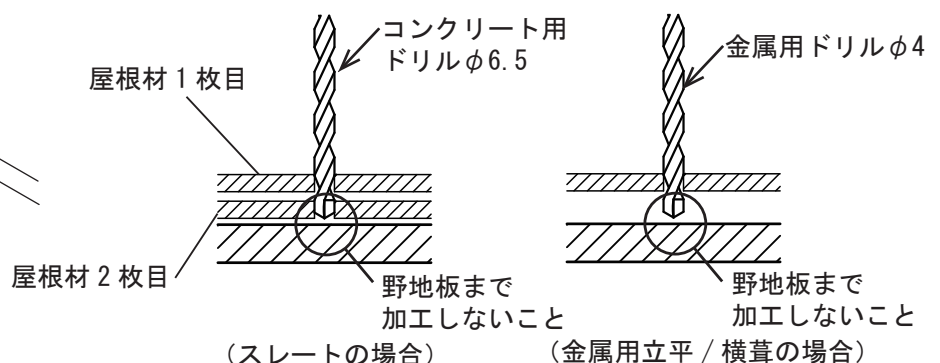
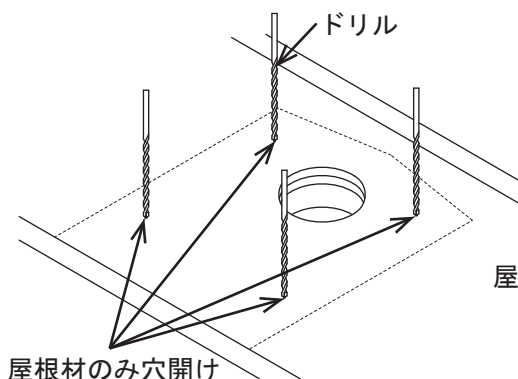


②マーキング・穴開け

1. 付属の型紙を使い、屋根材に穴位置5ヶ所と外周にマーキングします。
※なるべく軒側段差に寄せてマーキングしてください。後のコーキング作業が困難になる
可能性があります。
2. 穴位置5ヶ所のうち中央のマーキングに刃先径 45mm のホールソーを使用し配線穴を開けます。



3. 残り4ヶ所にドリルを使用し屋根材のみに穴を開けます。
※スレートはφ6.5のコンクリート用ドリル、金属板金はφ4.0の金属用ドリルを
使用してください。
※ドリルストッパー等を使用し野地板を貫通させないよう、屋根材のみに穴加工を
行ってください。
4. 集塵機等を使用して、下穴内部および周囲の穿孔くずをきれいに取り除きます。

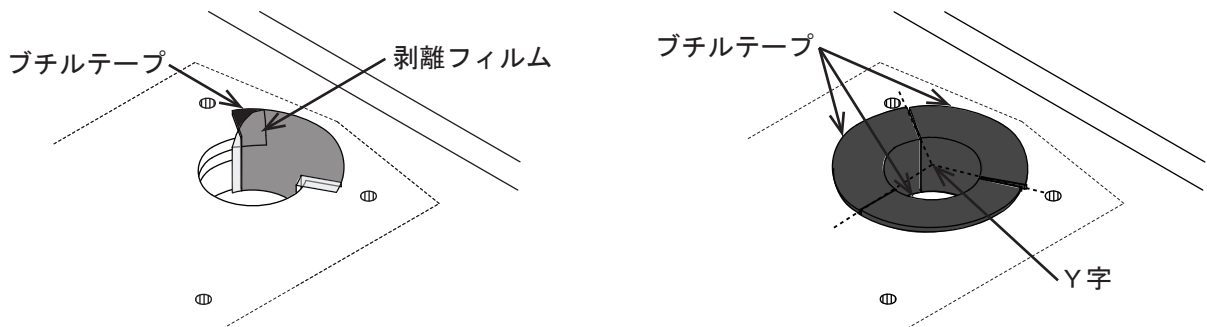


③防水処理と配線瓦ベース取付

1. ブチルテープの剥離紙を剥がし剥離フィルムを残した状態で、下図のように配線穴を覆うように貼付けてから剥離フィルムを剥がします。

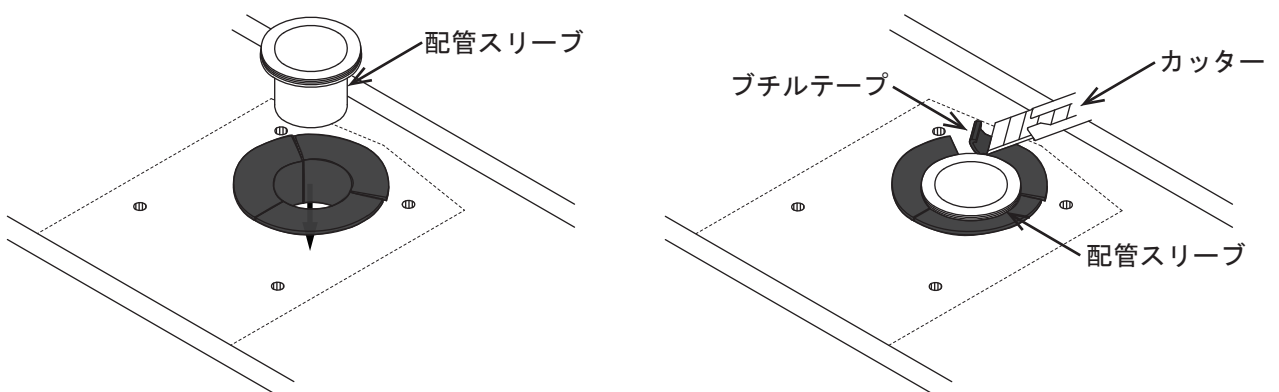
※ブチルテープの継ぎ目がY字となるように貼付けてください。

※ブチルテープは、確実に押し付けながら貼付けてください。貼付けが弱い場合、漏水の原因になる可能性があります。



2. 配線穴に配管スリーブを奥まで差し込みます。配管スリーブからはみ出したブチルは、ツバに沿ってカッター等を使用しカットします。

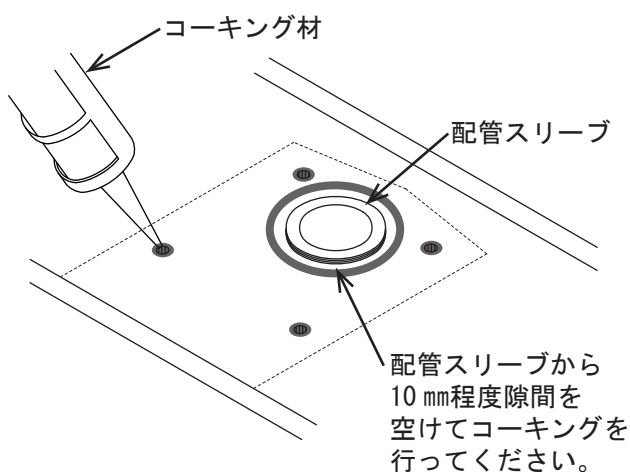
※カット後、配管スリーブを押し込み確実に奥まで差し込まれていることを確認してください。



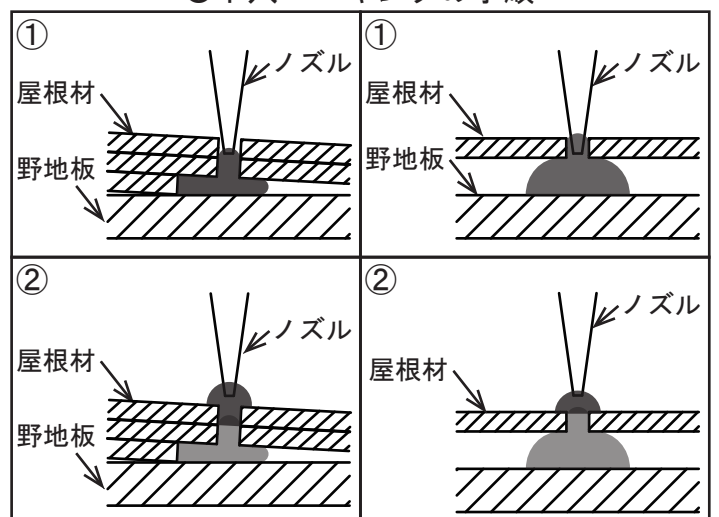
3. 下穴4ヶ所にコーキング材を充填し、配管スリーブから10mm程度隙間を空けた穴周りにもコーキングをします。

※屋根材と野地板までの隙間を埋めるように充填してください。(下図参照)

○下穴コーキングの手順

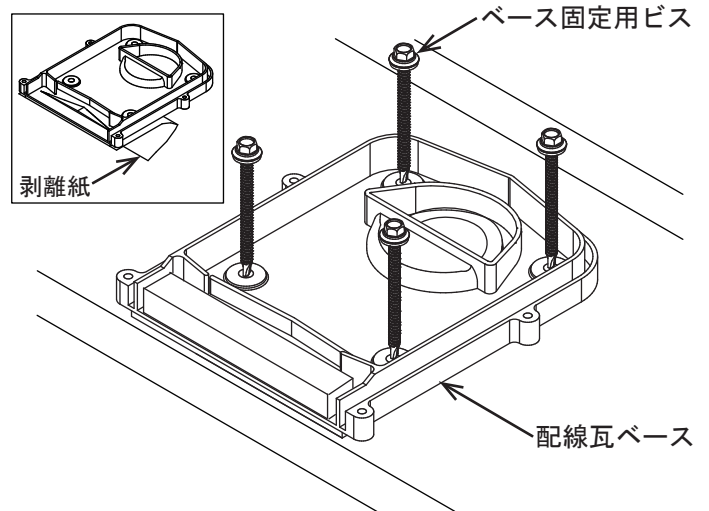


配管スリーブから10mm程度隙間を空けてコーキングを行ってください。



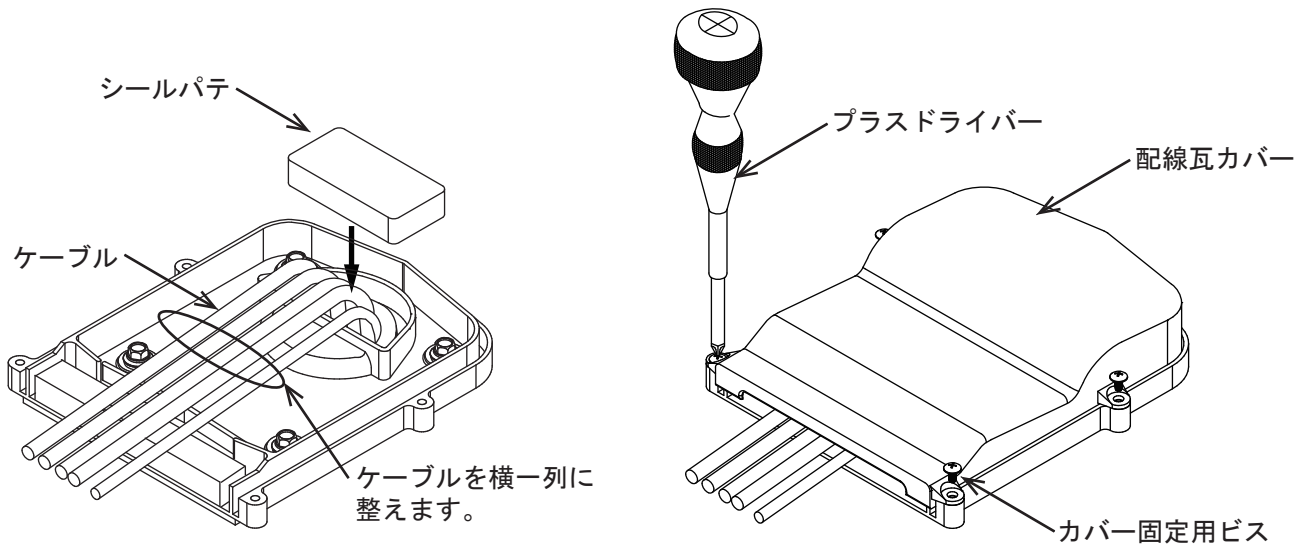
(スレートの場合) (金属立平 / 横葺の場合)

4. 配線瓦ベース裏面の剥離紙を剥がし、外周部のマーキングに合わせて貼付けます。
5. ビス穴にベース固定用ビス4本で固定します。



④配線作業

1. ケーブル収納口からケーブルを屋根裏に落とし込み、ケーブルを横一列に整えます。
 2. ケーブル収納口に隙間が出来ないようにシールパテで埋めます。
 3. 配線瓦カバーをかぶせ、押さえた時に浮きがないことを確認し、カバー固定用ビス4本をプラスドライバーを使い手締めで固定します。
- ※ビス締付け後、ベースとカバーの間に隙間がないことを確認してください。



⑤防水処理

配線瓦側面（軒側を除く3辺）にコーキング材を十分塗布し、コーキング用へら等を使用して丁寧に整えて防水処理を行います。

